

瞿麥花非一移栽供王皇、母苔曾結蔭蕭艾敢同行、諸種應相妬、頻芸自得常、敷芬新禁掖、變化舊疎荒、
 春揉尖莖聳、烟含細葉藏、晴霞初寸截、晚靄擬分將、脆軟紅蘇蒂、欹垂蠟紫房、半陰縈鳳暑、斜景射虹梁、
 坐對艷顏客、行隨笑臉娘、雨添深茜草、天深淺蘇芳、乍訝簪投地、那知纈曝場、綵錢風斷縷、文綺露團章、
 落口琅玕竹、通明玳瑁床、透簾誇繡帳、依砌助華堂、暈發施屏畫、塵除出篋粧、當時駢蝶子、每日引蜂玉、
 月宇雲飛波、星壇醮燎芒、彤庭看取近、清晝翫來長、宴步承仙履、宸居襲御香、繡衣驚奉使、錦服念歸鄉、
 接影瑤階合、連輝寶幔張、莫評推曆記、萱謾遣憂忘、獨饋齊三秀、偏憐過九腸、似燒任冒暑、欲慘未殘霜、
 縱使逢流火、還堪送迅商、重榮兼繪意、異色度炎涼、不問洲蘋白、誰占縣菊黃、薔薇嫌有刺、芍藥愧無光、
 比喻心難剛、吟題手又忙、乾恩回照甚、傾藿莫爭陽、

〔古今和歌集〕^三となりよりとこ夏の花をこひにをこせたりければ、おしみてこのうたをよみて

みつね

ちりをだにすへじとぞ思さきしよりいとわがぬるとこ夏の花

〔古今和歌集〕^四寛平御時きさいの宮の歌合のうた

素性法師

われのみや哀と思はむ、蚕なくゆふかげのやまとなでしこ

〔大鏡〕^五太政大臣伊尹、花山院は風流者にさへこそおはしましけれ、^{○中}なでしこのたねをついひ

ぢのうへにまかせ給へりければ、おもひもかけず、四方にいろく、^{○下}に、からにしきをひきかけた
 るやうにさきたりし、^{○下}

〔今昔物語〕^{二十四}一條院失給後上東門院讀和歌語第四十一

今昔一條院失サセ給テ後、後一條院ノ幼ク御座ケル時ニ、瞿麥ノ花ノ有ケルヲ、何心モマシマサ
 ズ取ラセ給タリケルヲ、母后上東門院見給テ、此ナム讀給ヒケル、

ミルマ、ニツユゾゴボル、オクレニシコ、ロモシラヌナデシコノハナ、ト此レヲ聞ク人皆